

東京駅殺人事件



[東京駅殺人事件_下载链接1_](#)

著者:[日] 西村京太郎

出版者:光文社

出版时间:1984-9

装帧:新書

isbn:9784334025717

東京駅の爆破を予告する脅迫電話が、駅長室にかかった。五十万人の乗降客を人質にとった犯人の要求は一億円。爆破予告時刻が迫るなか、受け渡しの舞台となった「踊り子号」には巧妙な罠が仕掛けられていた。首都の危機は回避されるのか。十津川警部率いる捜査陣と犯人との息づまる攻防を描いた傑作サスペンス!ファン待望の新装新版で贈る「駅シリーズ」第一弾。

作者介绍:

西村 京太郎（にしむら きょうたろう、1930年9月6日 - ）は、日本の推理作家。トラベルミステリーの第一人者で、十津川警部の生みの親として知られている。本名は矢島 喜八郎（やじま きはちろう）。

東京陸軍幼年学校在学中に終戦を迎え、東京都立電機工業学校（現・東京都立産業技術高等専門学校）卒業後、臨時人事委員会（後の人事院）に就職する。11年勤務後に退職し、私立探偵、警備員などを経て作家生活に入る。

初期は社会派推理小説を書いていたが、じきにスパイ小説、クローズド・サークル、パロディ小説、歴史小説など多彩な作品群を発表する。中でも海難事故もの（これについては西村本人が海が好きだったため。十津川警部は大学ヨット部出身という設定。）、誘拐もの（あらゆる犯罪の中で最も知能を要するので推理小説にふさわしいと考えたから）が多かった。日本中にトラベルミステリーというジャンルを示すきっかけとなったヒット作『寝台特急殺人事件』から全面的にトラベルミステリーに移行する。

列車や観光地を舞台とするトラベルミステリーに属する作品を数多く発表しており、シリーズキャラクターである十津川警部は有名である。多くの作品がテレビドラマ化（『西村京太郎トラベルミステリー』、あるいは『西村京太郎サスペンス・十津川警部シリーズ』など）されている。

西村が考えた鉄道などを使ったトリックやアリバイ工作は、そのリアリティが功を奏し根強い人気がある。近年では納税者ランキングの上位に名を連ねる。

オリジナル著作は2012年3月10日発行の『十津川警部秩父SL・三月二十七日の証言』で500冊に達し、その後も新刊の刊行は続いていて、単行本の累計発行部数は2億部を超える。この数字を記録した作家は、日本では2012年現在、西村と赤川次郎の2人しかいない。なお、彼は30代の前期から作家活動が続けているが、著作の90%以上は50歳を過ぎてから刊行されたものであり、作家としては大器晩成型の部類に属していると言える。詳細は西村京太郎の著作一覧を参照のこと。

目録:

[東京駅殺人事件_ダウンロード1](#)

标签

铁道

西村京太郎

日本

推理

小说

评论

西村著作No.85：精神紧绷的犯罪悬疑小说，恶毒的罪犯向东京站勒索整整1亿日元，如若不按时交付赎金，就要炸毁车站；与此同时站内还连带发生了两起凶杀案和一起绑架案，十津川警部只能小心翼翼地应对犯人的无理要求。第一起凶案和爆炸案的连接方式还算精妙，不到最后还真猜不出来。中盘靠后罪犯真面目已经揭晓，接下去自然就是警方如何穷追不舍，罪犯如何穷凶极恶之类的激烈对战。话说80-90年代旅情推理繁盛的时期，西村每年的纳税量都超过1亿，赤川次郎全盛时期超过8亿，勒索作家其实比勒索车站容易多了……

[東京駅殺人事件_下载链接1_](#)

书评

[東京駅殺人事件_下载链接1_](#)